

令和 3 年度農作物病害虫情報（第 3 号）

病害虫名 炭そ病
対象作物 カキ

1. 発生地域 県下全域
2. 発生時期 7 月～10 月
3. 発生量 やや多い
4. 注意報発表の根拠
(1) 6 月下旬の巡回調査では、甘柿園（富有）における炭そ病の発病枝率（病斑の見られる新梢）は 1.7% であり、過去 5 年間の値（0.1～0.3%）と比べ高くなっています。発生ほ場率は 39% であり例年発生がみられないほ場でも発病枝が確認されています。
5. 防除上の注意事項
(1) 7 月以降も雨が続く場合は感染が拡大する恐れがあります。8 月の高温期には病勢は停滞しますが、9 月に入り気温が低下すると果実での発病が増加します。ほ場をよく観察し、発病枝や発病果をできる限り除去し、感染源を減らすことが特に重要です。除去した枝や果実はほ場内に放置せず、必ず園外に持ち出し処分します。
(2) 発生園では、基幹防除に加え、7 月上中旬や 9 月中旬～10 月上旬（使用薬剤の収穫前日数に注意）に防除を行い、二次伝染を防止します。
(3) 高温期の 8 月でも、低温・降雨が続く場合や台風通過後には、速やかに防除を実施します。
(4) 農薬使用前にはラベルをよく読み、記載された使用条件を遵守します。また、薬液が隣接する農作物に飛散しないように十分注意します。

表 カキ炭そ病に対する主な適用薬剤（令和 3 年 7 月 1 日現在）

薬剤名	希釈倍数	使用時期	総使用回数	FRACコード
キノンドーフロアブル	800～1,000倍	収穫14日前まで	5回以内	M1
トレノックスフロアブル	500倍	収穫30日前まで	2回以内	M3
ベルクト水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前まで	3回以内	M7
ストロビードライフロアブル	3,000倍	収穫14日前まで	3回以内	11
オンリーワンフロアブル	2,000～3,000倍	収穫前日まで	3回以内	3
スコア顆粒水和剤	3,000倍	収穫前日まで	3回以内	3
ナリアWDG	2,000～3,000倍	収穫前日まで	2回以内	11、7

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所ホームページ <http://www.jpnp.ne.jp/nara/>

奈良県農薬情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/nara>